

# りそな 経済フラッシュ

## (米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



### 〇概況

- ◆ FRBは政策金利を据え置きとし、2022年3月から10会合連続で継続してきた利上げを見送った。
- ◆ 政策金利の見通しで年内残り2回の利上げを示唆するタカ派サプライズ。経済見通しではインフレの見通しを上方修正した。
- ◆パウエル議長の記者会見では次回7月の会合をライブと表現し、今後のデータ次第で利上げ再開を示唆したが、市場の反応は半信半疑となった。

- ✓ FRBは6/13-14のFOMC（連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFF金利の誘導目標を5.00～5.25%で据え置き、2022年3月から10会合連続で続けてきた利上げを見送った（全員一致）。
- ✓ 四半期に一度更新される政策金利見通し（ドットチャート）は全体的に引き上げられ、特に年内2回の追加利上げが示唆された点はタカ派サプライズとなった。市場では今回利上げを見送ったうえで、年内1回の利上げが織り込まれていた。同時に更新された経済見通しでは、3月時点の見通しと比較して、失業率が下方修正され、インフレ率が上方修正された。FRBが3月時点で見込んでいた通りに利上げの効果が現れていないことが示唆された形。
- ✓ 声明文では「今会合で誘導目標レンジを据え置いたことで、委員会は追加の情報と金融政策への意味合いを精査できる」と記され、経済・物価情勢を見極める時間的猶予を確保した。3月に発生した銀行の不安の影響を見極めたとの思惑もあると考えられる。
- ✓ パウエル議長は記者会見で、今回の決定を「賢明な判断」と表現。7月の会合での追加利上げの可能性については明言を避けつつ、「ライブ」な会合（≒どちらもあり得る）になると強調した。一方、利下げについては「2、3年先」になる可能性が高いとの認識を示した。
- ✓ マーケットは声明文が公表された直後はタカ派サプライズと捉え、金利・ドル円が上昇し、株価は下落で反応したものの、一方向の動きは継続せず、直近のレンジ内の動き留まった。年内残り4回のFOMCで2回利上げを行う場合、景気後退入りが予想されているなかで利上げを続けることになり、市場としても半信半疑の状況。年内利上げの織り込みも顕著な変動は見られていない。利上げの確度が高まる追加的な情報が出るまでは、レンジ内での推移となろう。

### FOMCメンバーの景気・物価見通し（6月会合）

【出所】FRB

	FRB見通し（中央値）			
	2023	2024	2025	長期
実質GDP	1.0↑	1.1↓	1.8↓	1.8
2023年3月時点	0.4	1.2	1.9	1.8
失業率	4.1↓	4.5↓	4.5↓	4.0
2023年3月時点	4.5	4.6	4.6	4.0
コアPCEインフレ率	3.9↑	2.6	2.2↑	2.0
2023年3月時点	3.6	2.6	2.1	2.0

※PCE:Personal Consumption Expenditure、個人消費支出

### FOMCメンバーの政策金利見通し（6月会合）※数字は人数、黄色は中央値

	2023		2024		2025		Longer run	
	3月	6月	3月	6月	3月	6月	3月	6月
6.375								
6.250								
6.125		1						
6.000								
5.875	1	2		1				
5.750								
5.625	3	9	1	2	1	1		
5.500								
5.375	3	4	1					
5.250								
5.125	10	2	2	3				
5.000								
4.875	1			2		1		
4.750								
4.625			3	2		1		
4.500								
4.375			2	6	1			
4.250								
4.125			5	1	1	2		
4.000								
3.875			2		1	1		
3.750								
3.625			1	1	2	2	1	1
3.500								
3.375			1		2	3		
3.250							1	1
3.125					4	3		
3.000							1	1
2.875					2	1		
2.750								2
2.625					4	2	1	2
2.500							8	7
2.375					1	1	2	3
2.250							3	
2.125								
平均値	5.278	5.537	4.403	4.750	3.322	3.583	2.588	2.662
中央値	5.125	5.625	4.125	4.625	3.125	3.375	2.500	2.500

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。